

ケーススターディ（こういう使い方なら、年間、これくらいお金が発生します）



◆ケース① :ビジネスコンサルタントの田中様(仮名)の利用事例

★田中様のプロフィール

38歳、八王子市在住、自宅を中心に、ITビジネスコンサルを中心にウェブ制作なども業務にしている

★バーチャルオフィス利用目的

都心に顧客が多いため、都心に事務所が欲しい。ただし、起業してまもなく、顧客先での業務が多く、専用の事務所は必要ない。自宅を事務所にするには奥様に反対されているためできない。電話は自分の携帯を名刺にも書いてあるので、直接電話をもらうことが多い。週1回は銀座に行くので、郵便物は全て銀座に立ち寄って引き取る。オフィスの利用は不要

★銀座プラスからの提案は『銀座プラス住所プラン』

費用: **初期費用 9,800円**

毎月費用: 4980円

郵便転送切手代: 0円

→ **田中様の年間利用総額 69,560円**

初期 9,800円 + (4980円 × 12ヶ月) = 69,560円

◆ケース② :ウェブショッピングの佐藤様(仮名)の利用事例

★佐藤様のプロフィール

26歳、大阪府在住。

★バーチャルオフィス利用目的

顧客の80%は都内。また扱う商材が若者向けが多いため、本社を大阪に置き、問合せセンターとして表参道のブランドのアドレスが必要。事務所は使わない。都内に出かけることも年間数回。郵便は週1回転送を希望する

★表参道・青山プラスからの提案は『東京電話転送プラン 9,960円』

東京電話転送プランは、バーチャルオフィス機能を含んでいます。

費用: **初期費用 9,800円**

毎月費用: 9,960円(住所+電話)

週1回の郵便転送(1回あたり切手代420円:着払い) × 53週間分(1年)

→ **佐藤様の年間利用総額 151,580円**

初期 9,800円

+ (住所+電話) 9,960円 × 12ヶ月

+ 切手代 420円 × (53週間分) = 151,580円

◆ケース③ : 会社設立を日本橋で行う太田様(仮名)の利用事例

★太田様のプロフィール

55 歳、千葉県在住。

★バーチャルオフィス利用目的

勤務先を退職し、人材コンサルタントとして起業をする。日本橋に以前の勤務先があり、起業の住所は日本橋指定。打ち合わせスペースがあるバーチャルオフィスを探している。電話は携帯があるので名刺には携帯を書く。これまでの付き合いの方以外の顧客が増えてきたら、03 番号も取得しようと考えている。郵便は月に 2 回は引き取りにいけるが、月 2 回は千葉に転送してもらいたい。事務所は月 1 回、執務として作業をしたい(3-4 時間程度)

★東京・日本橋プラスからの提案 は『会社設立プラス+日本橋住所プラン』

費用: **初期費用 9,800 円**

会社設立プラス 4,980 円

毎月費用: 4980 円(日本橋住所プラン)

週 1 回の郵便転送(1 回あたり切手代 420 円: 着払い) × 月 2(年間 24 回) 転送

→太田様の年間利用総額 92,820 円

初期費用 9,800 円

+会社設立プラス 4,980 円

+ (住所 4980 円 × 12 ヶ月)

+ 切手代 420 円 × (24 回分) = 74,820 円

+ 月 1 回のオフィス利用 1500 円 × 12 ヶ月(年間) = 92,820 円

注 意:

会社設立には法務局や、公証人役場に支払う税金等が別途 20 万 2,000 円発生します。

(弊社宛にお支払頂くものではありません)